

# 太陽光発電の取り組み

喜多方市では、環境にやさしい自然エネルギーを活かしたまちづくりをめざし、公共施設に太陽光発電システムの設置を進めています。

交流センターでは、従来のタイプのHITモデルを屋根に設置したのに加えて、シースルー太陽電池という新しいタイプを玄関に設置しています。

## HIT太陽電池モジュール

HITとは、ハイブリッド太陽発電の意味で、異なる性質の電池を2層に重ねているため、効率よく太陽光を電気に換えることができます。

住宅への普及啓発を図るためのモデルとして、交流センターには、家庭用規模のモデルを設置しています。



【HITモデル太陽電池】

## シースルー太陽電池モジュール



【シースルー太陽電池】

シースルー太陽電池モジュールとは、光を透過できる上に、発電もできるという新技術の太陽電池で、交流センターでは、光透過率30%のタイプを採用しています。

今後は、自動車のサンルーフに設置することや、窓ガラスのブラインドの代わりに設置することなどへの応用が期待されています。